

(別冊6)

令和6年2月19日招集
令和6年3月定例市議会

令和5年度

羽生市水道事業会計補正予算書及び説明書

(議案第11号)

羽 生 市

目

次

1	令和5年度羽生市水道事業会計補正予算（第4号）	1
2	令和5年度羽生市水道事業会計補正予算（第4号）実施計画	2
3	令和5年度羽生市水道事業会計予定キャッシュ・フロー計算書	3
4	継続費に関する調書	4
5	令和5年度羽生市水道事業会計予定貸借対照表	5
6	令和5年度羽生市水道事業会計補正予算（第4号）説明書	8

議案第11号

令和5年度 羽生市水道事業会計補正予算（第4号）

（総 則）

第1条 令和5年度羽生市水道事業会計の補正予算（第4号）は、次に定めるところによる。

（資本的収入及び支出）

第2条 予算第4条本文括弧書を「（資本的収入額が資本的支出額に対し不足する額362,546千円は、当年度分消費税及び地方消費税資本的収支調整額69,722千円、過年度分損益勘定留保資金292,824千円で補てんするものとする。）」に改め、資本的収入及び支出の予定額を次のとおり補正する。

（ 科 目 ）	（既決予定額）	（補正予定額）	（ 計 ）
	支	出	
第1款 資本的支出	987,623 千円	△ 246,400 千円	741,223 千円
第1項 建設改良費	792,530 千円	△ 246,400 千円	546,130 千円

（継続費）

第3条 予算第5条に定めた継続費の一部は廃止し、「継続費に関する調書」のとおりに補正する。

（企業債）

第4条 予算第6条に定めた起債の目的、限度額、起債の方法、利率及び償還の方法を次のとおり改める。

起債の目的	限 度 額	起債の方法	利 率	償還の方法
配水管布設替等事業	367,400 千円	普通貸借又は証券発行	年3.0% 以内（ただし、利率見直し方式で借入れる政府資金及び地方公共団体金融機構資金について、利率の見直しを行った後においては、当該見直し後の利率）	借入先の融資条件による。ただし、財政その他の都合により繰上げ償還し、又は償還年限を短縮し、若しくは低利債に借り替えることができる。

令和6年2月19日 提出

埼玉県羽生市長 河 田 晃 明

令和5年度 羽生市水道事業会計補正予算（第4号）実施計画

資本的収入及び支出

支 出

(単位：千円、消費税及び地方消費税込)

款	項	目	既決予定額	補正予定額	計	備考	
1	資本的支出		987,623	△ 246,400	741,223		
	1	建設改良費	792,530	△ 246,400	546,130		
		2	営業設備費	625,827	△ 246,400	379,427	

令和5年度 羽生市水道事業会計予定キャッシュ・フロー計算書
(令和5年4月1日から令和6年3月31日まで)

(単位：千円、消費税及び地方消費税抜)

1 業務活動によるキャッシュ・フロー

当年度純利益（△は純損失）	△ 46,623
減価償却費	341,634
資産減耗費	2,300
長期前受金戻入	△ 31,515
受取利息	0
支払利息	50,379
引当金の増減額（△は減少）	642
小計	316,817
利息の受取額	0
利息の支払額	△ 50,379
業務活動によるキャッシュ・フロー	266,438

2 投資活動によるキャッシュ・フロー

有形固定資産の取得による支出	△ 482,239
国庫補助金等による収入	11,276
一般会計又は他の特別会計からの繰入金による収入	0
投資活動によるキャッシュ・フロー	△ 470,963

3 財務活動によるキャッシュ・フロー

建設改良費等の財源に充てるための企業債による収入	367,400
建設改良費等の財源に充てるための企業債の償還による支出	△ 194,093
財務活動によるキャッシュ・フロー	173,307
資金増加額（又は減少額）	△ 31,218
資金期首残高	1,635,109
資金期末残高	1,603,891

継 続 費 に 関 す る 調 書

○ 廃止

款	項	事業名	補正前			補正後		
			総 額	年 度	年割額	総 額	年 度	年割額
1	資本的支出	1 建設改良費 第2浄水場自家発電施設更新事業	千円		千円	千円		千円
			616,000	5	246,400	—	—	—
6	369,600	—		—				

令和5年度 羽生市水道事業会計予定貸借対照表

(令和6年3月31日)

(単位：千円、消費税及び地方消費税抜)

		資 産 の 部		
1 固 定 資 産				
(1) 有 形 固 定 資 産				
イ	土 地	86,238		
ロ	立 木	2,831	89,069	
ハ	建 物	267,969		
	減価償却累計額	175,065	92,904	
ニ	構 築 物	12,784,492		
	減価償却累計額	6,738,823	6,045,669	
ホ	機 械 及 び 装 置	3,911,747		
	減価償却累計額	2,525,413	1,386,334	
ヘ	車 輛 運 搬 具	6,081		
	減価償却累計額	5,777	304	
ト	工 具、器 具 及 び 備 品	7,873		
	減価償却累計額	7,479	394	
チ	建 設 仮 勘 定	536,192	536,192	
	有形固定資産合計			8,150,866
(2) 無 形 固 定 資 産				
イ	電 話 加 入 権	203	203	
	無形固定資産合計			203
	固定資産合計			8,151,069
2 流 動 資 産				
(1) 現 金 ・ 預 金				
イ	現 金 ・ 預 金	1,603,891	1,603,891	
(2) 未 収 金				
イ	営 業 未 収 金	32,000		
	貸 倒 引 当 金	△ 4,739	27,261	
(3) 貯 蔵 品				
イ	原 材 料	29,077		
ロ	備 品	1,175		
ハ	貯 蔵 量 水 器	1,074	31,326	
	流動資産合計			1,662,478
	資 産 合 計			9,813,547

		負 債 の 部		
3	固 定 負 債			
(1)	企 業 債			
イ	建設改良費等の財源に 充てるための企業債	4,186,705	4,186,705	
(2)	その他固定負債	<u>0</u>	<u>0</u>	
	固定負債合計			4,186,705
4	流 動 負 債			
(1)	企 業 債			
イ	建設改良費等の財源に 充てるための企業債	200,936	200,936	
(2)	未 払 金			
イ	営業未払金	45,227	45,227	
(3)	引 当 金			
イ	賞与引当金	5,215		
ロ	法定福利費引当金	<u>1,003</u>	6,218	
(4)	預 り 金			
イ	下水道預り金	<u>18,725</u>	<u>18,725</u>	
	流動負債合計			271,106
5	繰 延 収 益			
(1)	長期前受金		1,624,621	
(2)	長期前受金収益化累計額		<u>△ 1,046,264</u>	
	繰延収益合計			<u>578,357</u>
	負債合計			<u>5,036,168</u>
		資 本 の 部		
6	資 本 金			
(1)	資 本 金			
イ	固有資本金	8,719		
ロ	繰入資本金	347,100		
ハ	組入資本金	<u>2,578,391</u>	<u>2,934,210</u>	
	資本金合計			2,934,210
7	剰 余 金			
(1)	資 本 剰 余 金			
イ	国庫県費補助金	11,588		
ロ	工事負担金	389,018		
ハ	受贈財産評価額	26,625		
ニ	他会計負担金	<u>38,950</u>		
	資本剰余金合計		466,181	
(2)	利 益 剰 余 金			
イ	減債積立金	210,000		
ロ	建設改良積立金	369,371		
ハ	当年度未処分 利益剰余金	<u>797,617</u>		
	利益剰余金合計		<u>1,376,988</u>	
	剰余金合計			<u>1,843,169</u>
	資本合計			<u>4,777,379</u>
	負債資本合計			<u><u>9,813,547</u></u>

注記

I 重要な会計方針

1 たな卸資産の評価基準及び評価方法
貯蔵品 先入先出法による原価法

2 固定資産の減価償却の方法

(1) 有形固定資産

・減価償却の方法 定額法による。

・主な耐用年数

建物 10～50年

構築物 10～65年

機械及び装置 8～50年

車両運搬具 4～5年

器具及び備品 2～15年

(2) 無形固定資産

・減価償却の方法 定額法による。

3 引当金の計上方法

(1) 退職給付引当金

職員の退職手当については、毎事業年度支払う一定の負担金のみを公営企業が負担しており、積立金の不足等に応じて発生する追加的な負担は、全て一般会計が負担することとなっているため、退職給付引当金は計上していない。

(2) 賞与引当金

職員の期末手当及び勤勉手当の支給に備えるため、当年度末における支給見込額に基づき、当年度の負担に属する額を計上している。

(3) 法定福利費引当金

職員の期末手当及び勤勉手当に係る法定福利費の支出に備えるため、当年度末における支給見込額に基づき、当年度の負担に属する額を計上している。

(4) 貸倒引当金

債権の不納欠損による損失に備えるため、不納欠損実績率等に基づき、回収不能見積額を計上している。

4 消費税及び地方消費税の会計処理

消費税及び地方消費税の会計処理は税抜方式によっている。

令和5年度羽生市水道事業会計補正予算(第4号)説明書

資本的収入及び支出

支 出

款 項	目	既 決 予 定 額	補 正 予 定 額	計
1 資本的支出		987,623	△ 246,400	741,223
1 建設改良費		792,530	△ 246,400	546,130
	2 営業設備費	625,827	△ 246,400	379,427

(単位：千円、消費税及び地方消費税込)

節		説明
区分	金額	
機械及び装置 新設改良費	△ 246,400	第2浄水場自家発電施設更新工事